

【第1期】

2025年12月9日【火】▶26日【金】

【第2期】

2026年2月10日【火】▶3月22日【日】

会期中の休館日：月曜日

PROGRAM

No.69

NFAJプログラム  
2025年11月発行

# 逝ける映画人を偲んで

2023-2024

In Memory  
of Film Figures  
We Lost  
in 2023-2024

国立映画アーカイブ

長瀬記念ホール OZU (2階)

定員＝310名(各回入替制・全席指定席)  
各回の開映後の入場はできません。



国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan

## 逝ける映画人を偲んで 2023-2024

In Memory of Film Figures We Lost in 2023-2024

日本映画の輝かしい歴史を築き、惜しまれながら逝去された映画人の方々と、故人が関わった映画作品の上映を通じて追悼する企画「逝ける映画人を偲んで」。今回は、2023年1月1日から2024年12月31日の間に逝去された80名以上の方々と追悼対象として、84作品(60プログラム)を上映し、それぞれの業績を回顧・顕彰します。

ゆかりの方々、そして映画ファンの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

- ㊟＝監督・演出 ㊞＝原作・原案 ㊟＝脚本・脚色 ㊟＝撮影 ㊟＝美術 ㊟＝音楽 ㊟＝アニメーション ㊟＝出演 ㊟＝声の出演 ㊟＝解説・ナレーション
- スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 上映をもって追悼する方々の名前は、青色で表示しています。出演者の場合、カッコ内は映画中の役名です。
- 上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- タイトルの横に★が付いている作品は、公開当時から指定を受けた作品です。当該の上映回に女性専用席を設けます。
- NEWとある作品はニュープリントでの上映です。
- ★の回はトークイベントがあります。

1 12/10(水)19:00 12/18(木)15:00

### 慟哭(114分・35mm・白黒)

劇作家の杉守(佐分利)は劇団では尊敬を集めるが、演劇のために家庭を顧みず、献身的に尽くした妻はその犠牲になって命を落としてしまう。杉守に憧れを抱いていた新人女優(阿部)が彼に接近するが…。俳優座養成所から本作で映画デビューを果たした阿部壽美子は新東宝の女優として活躍した後、NHKのTV人形劇「新八犬伝」の玉梓役(声優)でも人気を博した。

1952(新東宝＝東京プロ) ㊟阿部壽美子(夏川文子) ㊟佐分利信 ㊟猪俣勝人 ㊟藤井静 ㊟松山崇 ㊟早坂文雄 ㊟木暮実千代、南壽美子、丹阿彌谷津子、三橋達也、千田是也、笠智衆、三宅邦子、徳大寺伸

2 12/10(水)15:00 12/19(金)14:30

### おトラさんのお化け騒動

(59分・35mm・白黒)

西川辰美の4コマ漫画「おトラさん」にもとづくTVドラマの好評を受けて製作された映画シリーズの第4作。主演の柳家金語楼が有崎勉名義で原作も手がけている。幼少期から金語楼劇団の子役として舞台上に立っていた小桜京子は、本シリーズで演じたおトラさんの女中仲間・お豆さんが当たり役となった。

1958(東京映画) ㊟小櫻京子(お豆さん) ㊟小田基義 ㊟西川辰美、有崎勉 ㊟新井一 ㊟伊東英男 ㊟島康平 ㊟神津善行 ㊟柳家金語楼、有島一郎、水の也清美、川田孝子、日吉としやす、左ト全、柳沢真一、八波むと志、由利徹、南利明

3 12/11(木)19:00 12/20(土)13:00

### 東海道四谷怪談(77分・35mm・カラー)

浪人の民谷伊右衛門(天知)は恋人・お岩(若杉)の父親を秘密裏に斬殺して彼女と江戸へ向かうが、やがて武家の娘に見初められ、邪魔になったお岩を始末しようとする。中川信夫の怪談映画の集大成にして日本映画史に残る恐怖映画の金字塔。石川義寛による傑出した脚色が人間の業をめぐる物語を巧みに駆動している。

1959(新東宝) ㊟助監督 石川義寛 ㊟中川信夫 ㊟鶴屋南北 ㊟大貫正義 ㊟西本正 ㊟黒沢治安 ㊟渡辺由明 ㊟天知茂、若杉嘉津子、江見俊太郎、北沢典子、中村竜三郎、池内淳子、林寛、花岡菊子、大友純

4 12/12(金)14:00 12/20(土)16:30

### 打倒 KNOCK DOWN(82分・35mm・カラー)

天才的才能を見出されプロボクサーへの道を歩む高野(赤木)。だが連戦連勝するにつれ周囲の思惑に翻弄されていく。陰ながら高野を見守る従妹を演じた稲垣美穂子は1956年に日活で俳優デビューを果たし、その知的な魅力で人気を博す。1961年に退社した後、は、主な活躍の場を舞台・TVドラマに移した。1977年には劇団「目覚時計」を設立し、オリジナルのファミリー向けミュージカルの創作・公演活動にも意欲的に取り組んだ。

1960(日活) ㊟稲垣美穂子(美知子) ㊟松尾昭典 ㊟宮田輝明 ㊟藤岡条信 ㊟木村威夫 ㊟山本直純 ㊟赤木圭一郎、二谷英明、和田悦子、岡田真澄、殿山泰司、初井言栄、高品格、浜村純、山田禅二、大坂志郎

5 12/11(木)15:00 12/18(木)19:00

### 狂熱の果て(78分・35mm・白黒)

ジャズと車と痴戯に明け暮れる「六本木族」の若者たちを待ちうける虚無と退廃を、過剰な演出で描破したもう一つのヌーヴェル・ヴァーグ。倒産後の新東宝作品を配給した大宝の第1回配給作品となったが、同社も約4ヵ月後に解散。本作がデビューとなった山際永三監督の協力を得て、2017年度に作製した35mmプリントを上映する。

1961(佐川プロ) ㊟山際永三 ㊟秋本マサミ ㊟山田健 ㊟岡田直道 ㊟宮沢計次 ㊟林光、萩原秀樹 ㊟星輝美、松原緑郎、藤木孝、奈良あけみ、柏木優子、鳴門洋二、沢村みつ子、利根はる恵、中岡慎太郎、大谷くにお

6 12/12(金)16:30 12/23(火)19:00

### ハイティーンやくざ(72分・35mm・白黒)

大学受験を控えた高校生(川地)が街を牛耳るやくざに立ち向かう青春アクション。鈴木清順の助言を受けて悪役俳優となり、同監督作をはじめ数多くの暗黒街もの、刑事ものなどで敵役を務めた上野山功一が狡猾に立ち回るやくざの幹部を怪演。また、清順作品含め日活を代表する美術監督として活躍した千葉一彦(和彦)が、バーや商店が建ち並ぶ街の風景を巧みにつくりだしている。

1962(日活) ㊟千葉和彦 ㊟上野山功一(小林) ㊟鈴木清順 ㊟吉村望、奥國守 ㊟萩原憲治 ㊟伊部晴美 ㊟川地民夫、田代みどり、杉山俊夫、佐野浅夫、松尾嘉代、初井言栄、松本典子、山田禅二、高品格、木浦佑三

7 12/9(火)15:00 12/19(金)19:00

### 若い季節(88分・35mm・カラー)

高視聴率を誇ったNHKのTVドラマの映画化。ミュージカルシーンを交えつつ、渡辺プロダクション所属俳優を中心とした豪華なキャストによって、化粧品メーカーの競争をコミカルに描く。販売員「チャームガール」の一人を演じた中真千子は、「若大将」シリーズの妹・照子役などで東宝喜劇を支えた。本作でクレージーキャッツのメンバーとともに出演している犬塚弘は、喜劇のバイプレイヤーからシリアスな役柄まで幅広く活躍した。

1962(東宝) ㊟中真千子(美枝)、犬塚弘(犬塚) ㊟古沢恵吾 ㊟小野田勇 ㊟田波靖男 ㊟飯村正 ㊟小川一男 ㊟中村八大、宮川泰 ㊟淡路恵子、植木等、八木肇、谷啓、団令子、浜美枝、藤山陽子、坂本九、ジェリー藤尾、有島一郎、佐原健二、松村達雄、平田昭彦、若林映子



ハイティーンやくざ

8 2/24(水)19:00 3/21(土)13:00★

### 久里洋二 短篇アニメーション作品集(計87分)

切り立った鋭い描線と、不条理とエロスに満ちた無尽蔵のアイデアで、日本のインディペンデント・アニメーションの可能性を切り拓いた久里洋二。1960-70年代に前衛的な音楽家(武満徹、一柳慧、富田勲)や詩人(谷川俊太郎)など異分野の才能とともに創作し、世界中の作り手たちに衝撃を与えた国際アニメーション映画祭での受賞作をまとめて上映する。

#### 人間動物園(2分・35mm・カラー)

1961(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟谷川俊太郎 ㊟武満徹 ㊟水島弘、岸田今日子

#### LOVE(愛)(5分・35mm・カラー)

1963(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟谷川俊太郎 ㊟武満徹 ㊟水島弘、岸田今日子

#### THE BUTTON(ザ・ボタン)(3分・35mm・カラー)

1964(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二

#### アオス / AOS(9分・35mm・白黒)

1964(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟古川肇郎、林政道 ㊟小野洋子 ㊟古城紀久子、乃村知子

#### SAMURAI / 侍(7分・35mm・白黒)

1965(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二

#### FLOWER(花)(1分・35mm・カラー)

1967(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二

#### The ROOM(部屋)(5分・35mm・カラー)

1967(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟一柳慧

### WHAT DO YOU THINK? / あなたは何を考えているの?(10分・35mm・カラー)

1967(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟谷川俊太郎 ㊟山崎宏 ㊟水島弘、岸田今日子

### AU FOU!(オー・フー! / 殺人狂時代) [カラー版](10分・35mm・カラー)

1967(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟古川肇

### 二匹のサンマ [カラー版](13分・35mm・カラー)

1968(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟古川タク ㊟山上路夫

### THE MIDNIGHT PARASITES / 寄生虫の一夜(10分・35mm・カラー)

1972(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟富田勲

### LIVING ON THE BOUGHS(木の上の生活)(2分・35mm・カラー)

1974(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟武満徹

#### POP(ポップ)(3分・35mm・白黒)

1974(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟佐々木一恵

#### MANGA(漫画)(7分・16mm・カラー)

1977(久里実験漫画工房) ㊟久里洋二 ㊟山崎宏

上映素材提供：一般社団法人 久里実験漫画工房

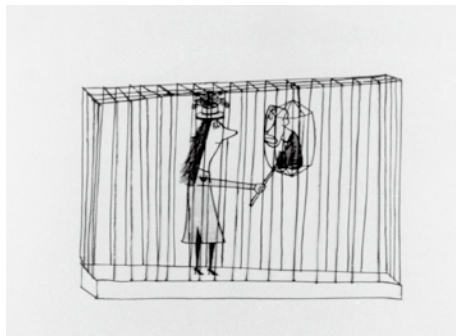
★印の回は上映後に栗原由行氏(一般社団法人 久里実験漫画工房代表理事、久里洋二子息)と古川タク氏(アニメーション作家)による対談(約60分)があります。

9 12/16(水)15:00 12/24(水)19:00

### いれずみ半太郎(90分・35mm・カラー)

長谷川伸の戯曲「刺青奇偶」の映画化。薄幸な女郎・お仲(丘)はやくざ者の半太郎(大川)によって命を救われ真の愛を知るが、悲痛な運命が2人を襲う。「東映城のお姫様」と呼ばれ数多くの東映時代劇に出演した丘さとは、本作で演じたお仲を今まで最も気に入っている役のひとつとして挙げている。

1963(東映京都) ㊟丘さとも(お仲) ㊟マキノ雅弘 ㊟長谷川伸 ㊟野上竜雄 ㊟吉田貞次 ㊟鈴木孝俊 ㊟斎藤一郎 ㊟大川橋藏、長門裕之、進藤英太郎、立川さゆり、千之赫子、河原崎長一郎、原健策、徳大寺伸、夏川静枝



人間動物園

| <i>10</i>                                                                                                                                                                                                                                 | 12/14 <span>(日)</span> 13:00 | 12/26 <span>(金)</span> 15:00 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <b>三大怪獣 地球最大の決戦</b><br>(93分・35mm・カラー)                                                                                                                                                                                                     |                              |                              |
| 宇宙怪獣キングギドラが初登場した「ゴジラ」シリーズ第5作。飯塚定雄はCGのない時代に手描きの光学作画で怪獣や超科学兵器の光線を表現し、特撮映画の迫力に寄与、本作ではキングギドラの出現シーンを華麗に演出した。のちに造形師となる村瀬継蔵は本作で造形師・利光貞三の助手として、ギドラやアップ用のゴジラの尻尾の制作を担当。鈴木桂子は円谷組のスク립ターとして特撮場面の複雑な編集に貢献。勝部義夫は東宝の特撮映画、シリーズ映画を中心にパイプレイヤーとして活躍した。        |                              |                              |
| 1964(東宝)◎ <i>怪獣造形村瀬継蔵</i> ◎ <i>光学作画飯塚定雄</i> ◎ <i>スクリプター鈴木桂子</i> ◎ <i>勝部義夫</i> (新聞記者)◎ <i>本多猪四郎</i> ◎ <i>関沢新一</i> ◎ <i>小泉一美</i> ◎ <i>北猛夫</i> ◎ <i>伊福部昭</i> ◎ <i>特技監督円谷英二</i> ◎ <i>夏木陽介</i> 、星由里子、小泉博、志村喬、若林映子、伊藤エミ、伊藤ユミ、伊藤久哉、黒部進、平田昭彦、天本英世 |                              |                              |

| <i>11</i>                                                                                                                                                                 | 12/9 <span>(火)</span> 19:00 | 12/17 <span>(水)</span> 15:00 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| <b>あこがれ</b> (85分・35mm・カラー)                                                                                                                                                |                             |                              |
| 信子(内藤)は同じ養護施設で育った一郎(田村)と再会して惹かれあうが、周囲の反対に揺れ動く。木下恵介執筆のTVドラマ「記念樹」(1966-67)をもとに弟子の山田太一が脚色した本作は、東宝テレビ部が制作に携わったTVドラマ「水点」(1966)で人気沸騰した主演・内藤洋子と、名脇役陣や敏腕スタッフに支えられ新鮮な青春メロドラマに結実した。 |                             |                              |
| 1966(東宝)◎ <i>山田太一</i> ◎ <i>恩地日出夫</i> ◎ <i>木下恵介</i> ◎ <i>逢沢譲</i> ◎ <i>育野重一</i> ◎ <i>武満徹</i> ◎ <i>内藤洋子</i> 、田村亮、新珠三千代、小沢昭一、加東大介、賀原夏子、沢村貞子、乙羽信子、小夜福子                         |                             |                              |

| <i>12</i>                                                                                                                                                                                                                                          | 12/12 <span>(金)</span> 19:00 | 12/19 <span>(金)</span> 16:30 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <b>夢は夜ひらく</b> (81分・35mm・カラー)                                                                                                                                                                                                                       |                              |                              |
| ナイトクラブの歌手(園)と彼女の兄の遺産を届けに来た若いやくざ者(高橋)の恋を描く歌謡映画。当時の人気スター陣が華を添えている。中尾ミエ、伊東ゆかりとともに「スパーク3人娘」として人気を得た園まりは、自身のヒット曲をモチーフにした作品に立て続けに主演。また、日活ニューフェイス出身の山本陽子が主人公の親友を演じている。                                                                                    |                              |                              |
| 1967(日活)◎ <i>園まり</i> (矢沢マリ)、 <i>山本陽子</i> (片桐洋子)◎ <i>野口晴康</i> ◎ <i>才実明</i> 、 <i>中野顕彰</i> ◎ <i>上田宗男</i> ◎ <i>小池一美</i> ◎ <i>宮川泰</i> ◎ <i>渡哲也</i> 、 <i>高橋英樹</i> 、 <i>見明凡太郎</i> 、 <i>平田大三郎</i> 、 <i>名古屋章</i> 、 <i>奥村チヨ</i> 、 <i>布施明</i> 、 <i>ドリフターズ</i> |                              |                              |

| <i>13</i>                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2/21 <span>(土)</span> 12:30 | 3/10 <span>(火)</span> 15:00 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <b>妻二人</b> (93分・35mm・カラー)                                                                                                                                                                                                                                                 |                             |                             |
| パトリック・クエンティンのミステリ小説「二人の妻をもつ男」を翻案。恋人の順子(岡田)と別れ社長令嬢の道子(若尾)と結婚した健三(高橋)。ある日、健三は順子と偶然再会するが、彼女の現在の恋人・小林(伊藤)の存在が歯車を狂わせていく。伊藤孝雄は宝塚映画、俳優座を経て劇団民藝に所属、増村保造や中平康の監督作品で多彩な役柄を演じた。                                                                                                       |                             |                             |
| 1967(大映東京)◎ <i>伊藤孝雄</i> ( <i>小林章太郎</i> )◎ <i>増村保造</i> ◎ <i>新藤兼人</i> ◎ <i>宗川信夫</i> ◎ <i>下河原友雄</i> ◎ <i>山内正二</i> ◎ <i>若尾文子</i> 、 <i>岡田茉莉子</i> 、 <i>高橋幸治</i> 、 <i>江波杏子</i> 、 <i>長谷川待子</i> 、 <i>三島雅夫</i> 、 <i>早川雄三</i> 、 <i>木村玄</i> 、 <i>村田扶美子</i> 、 <i>仲村隆</i> 、 <i>伊東光一</i> |                             |                             |

| <i>14</i>                                                                                                                                                                                                                   | 2/10 <span>(火)</span> 19:00 | 3/7 <span>(土)</span> 19:00 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| <b>強虫女と弱虫男</b> (98分・35mm・白黒)                                                                                                                                                                                                |                             |                            |
| 九州の炭鉱町が閉山し失業した父親(殿山)にかわって京都祇園でホステスとなり生き抜いていこうと奮闘する母娘(乙羽、山岸)の姿を描く。プロデューサーの桑原一雄は、近代映画協会で新藤兼人と数々の作品を製作。美術の井川徳道は、綜芸プロ、近代映画協会を経て東映京都撮影所に所属し、時代劇、任侠映画、実録やくざ映画などで活躍した。                                                             |                             |                            |
| 1968(近代映画協会＝松竹大船)◎ <i>井川徳道</i> ( <i>プロデューサー桑原一雄</i> )◎ <i>新藤兼人</i> ◎ <i>黒田清巳</i> ◎ <i>林光圀</i> ◎ <i>乙羽信子</i> 、 <i>山岸映子</i> 、 <i>殿山泰司</i> 、 <i>親世栄夫</i> 、 <i>中村芳子</i> 、 <i>草野大悟</i> 、 <i>戸浦六宏</i> 、 <i>浜田寅彦</i> 、 <i>岩田直二</i> |                             |                            |

| <i>15</i>                                                                                                                                                                                                              | 2/11 <span>(水)</span> 16:00 | 3/3 <span>(火)</span> 15:00 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| <b>薔薇の葬列</b> (104分・35mm・白黒)                                                                                                                                                                                            |                             |                            |
| オイディプス劇を換骨奪胎し、当時の新宿アンダーグラウンド文化が万華鏡のように展開する松本俊夫の長篇劇映画第1作。電子音楽による野心的な試みなど、戦後日本の現代音楽界を代表する作曲家である湯浅譲二は、数々の作品で松本の実験精神と共振しながら映画音楽も手がけた。また、劇団青年座に所属し、映画だけでなくTVや舞台でも活躍した兄玉謙次、数多くのATG作品、日活ロマンポルノ作品の常連として活躍した坂本長利らが作品の世界観を支えている。 |                             |                            |
| 1969(松本プロ＝ATG)◎ <i>湯浅譲二</i> ◎ <i>兄玉謙次</i> 、 <i>坂本長利</i> ◎ <i>松本俊夫</i> ◎ <i>鈴木達夫</i> ◎ <i>朝倉雄</i> ◎ <i>ピーター</i> 、 <i>土屋嘉男</i> 、 <i>小笠原修</i> 、 <i>城よしみ</i> 、 <i>仲村紘一</i> 、 <i>小松方正</i>                                   |                             |                            |

| <i>16</i>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 2/11 <span>(水)</span> 12:30 | 3/6 <span>(金)</span> 18:30 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| <b>無常*</b> (143分・35mm・白黒)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                             |                            |
| 実相寺昭雄の初長篇映画。15世花ノ本流宗家の花ノ本寿は映画では松竹の時代劇や武智鉄二、実相寺の作品などに出演。関西芸術座の創設メンバーである河東けいは、舞台やTVドラマに数多く出演した。寺田農は岡本喜八の「肉弾」(1968)など映画、TV、舞台等で幅広く活躍。特に実相寺とは公私ともに親交が深かった。冬木透(蔦田尚呉)は、「ウルトラセブン」などのTV作品から劇場映画まで実相寺作品の音楽を数多く手がけ、共同でコンサートを開催するなど盟友だった。                                                                                                                      |                             |                            |
| 1970(実相寺プロ＝ATG)◎ <i>冬木透</i> ◎ <i>花ノ本寿</i> (岩下)、 <i>河東けい</i> ( <i>お種</i> )、 <i>寺田農</i> ( <i>やくざ</i> )◎ <i>実相寺昭雄</i> ◎ <i>石堂淑朗</i> ◎ <i>稲垣涌三</i> 、 <i>中塚正夫</i> 、 <i>大根田和美</i> ◎ <i>池谷仙克</i> 、 <i>大沢哲三</i> ◎ <i>田村亮</i> 、 <i>司美智子</i> 、 <i>佐々木功</i> 、 <i>田中三津子</i> 、 <i>岡村春彦</i> 、 <i>山村弘三</i> 、 <i>菅井さん</i> 、 <i>集三枝子</i> 、 <i>小林昭二</i> 、 <i>岡田英次</i> |                             |                            |

| <i>17</i>                                                                                                                                         | 2/25 <span>(水)</span> 19:00 | 3/21 <span>(土)</span> 16:30 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <b>田名網敬一作品集</b> (計51分)                                                                                                                            |                             |                             |
| 日本のアンダーグラウンドなアートシーンを牽引し、絵画、コラージュ、立体作品、アニメーション、実験映像、インスタレーションなどジャンルを越境して精神的に活動してきた田名網敬一。本プログラムでは、デザイナーとして培った方法論や技術を援用して制作され、日本の実験映画に影響を与えた8作を上映する。 |                             |                             |
| <b>Commercial War</b> (5分・16mm・カラー)                                                                                                               |                             |                             |
| 1971◎ <i>田名網敬一</i> ◎ <i>の</i> 田中邦彦◎ <i>編集</i> 杉山忠夫◎ <i>山崎宏</i>                                                                                    |                             |                             |
| <b>Artificial Paradise／人工の楽園</b> (14分・16mm・カラー)                                                                                                   |                             |                             |
| 1975◎ <i>田名網敬一</i> ◎ <i>遠藤正</i>                                                                                                                   |                             |                             |
| <b>Crayon Angel</b> (3分・16mm・カラー)                                                                                                                 |                             |                             |
| 1975◎ <i>田名網敬一</i> ◎ <i>スタジオU</i> の <i>佐藤由美</i> ◎ <i>田里美紀</i>                                                                                     |                             |                             |
| <b>Sweet Friday／優しい金曜日</b> (3分・16mm・カラー)                                                                                                          |                             |                             |
| 1975◎ <i>田名網敬一</i> ◎ <i>スタジオU</i> の <i>佐藤由美</i> ◎ <i>田里美紀</i>                                                                                     |                             |                             |

|                                                   |
|---------------------------------------------------|
| <b>WHY</b> (10分・16mm・カラー)                         |
| 1975◎ <i>田名網敬一</i> ◎ <i>遠藤正</i> ◎ <i>西岡たかし</i>    |
| <b>4 EYES</b> (9分・16mm・カラー)                       |
| 1975◎ <i>田名網敬一</i> ◎ <i>遠藤正</i>                   |
| <b>闇の記憶・夢の陰影</b> (4分・16mm・カラー)                    |
| 2000◎ <i>田名網敬一</i> ◎ <i>画</i> 相原信洋◎ <i>音</i> 稲垣貴士 |
| <b>風の呼吸</b> (アニメーションによる往復書簡)(3分・16mm・カラー)         |
| 2001◎ <i>田名網敬一</i> ◎ <i>音</i> 相原信洋◎ <i>音</i> 稲垣貴士 |
| 上映素材提供：NANZUKA                                    |

| <i>18</i>                                                                                                                                                                                                                                                     | 12/13 <span>(土)</span> 16:30 | 12/21 <span>(日)</span> 16:00 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <b>女生きてます 盛り場渡り鳥</b><br>(89分・35mm・カラー)                                                                                                                                                                                                                        |                              |                              |
| ストリッパーを幹旋する新宿芸能社の経営者夫妻を主人公にした「女」シリーズの第4作にして最終作。共同脚本の掛川昌裕は、東映京都撮影所の助監督から脚本家となり、プログラム・ピクチャーの時代を支えた。子役出身の中村メイコは、同シリーズの第1作『喜劇 女は男のふるさとヨ』(1971)に続き、行き場のない女性たちの「かあさん」役を好演。森崎東作品の常連でもあった財津一郎は、うさんくさい医者に扮して喜劇役者の本領を発揮している。                                            |                              |                              |
| 1972(松竹大船)◎ <i>掛川昌裕</i> ◎ <i>中村メイコ</i> (電子)、 <i>財津一郎</i> ( <i>石井医師</i> )◎ <i>森崎東</i> ◎ <i>藤原審爾</i> ◎ <i>吉川憲一</i> ◎ <i>佐藤之俊</i> ◎ <i>山本直純</i> ◎ <i>森繁久彌</i> 、 <i>川崎あかね</i> 、 <i>山崎努</i> 、 <i>春川ますみ</i> 、 <i>なべおさみ</i> 、 <i>浦辺粂子</i> 、 <i>南美江</i> 、 <i>藤原釜足</i> |                              |                              |

| <i>19</i>                                                                                                                                                                                                                  | 2/24 <span>(火)</span> 15:00 | 3/20 <span>(金)</span> 12:00 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <b>武田純一郎作品集</b> (計75分)                                                                                                                                                                                                     |                             |                             |
| 旧・東京シネマの制作休止に伴い、1968年にシネ・サイエンス(現・アイカム)を設立した武田純一郎は、顕微鏡撮影を活かした科学映画を数多く製作した。染色体の分析から種としてのネズミの歴史を浮かび上がらせる『染色体に書かれたネズミの歴史』、岸田衿子・今日子姉妹によるナレーションとともに生命誕生の神秘を辿る『たまごからヒトへ』、大小さまざまな穴・孔・管の機能を顕微鏡撮影や屋外撮影などを駆使して解き明かす『あなのふしぎ』の3作品を上映する。 |                             |                             |
| <b>染色体に書かれたネズミの歴史</b> (34分・35mm・カラー)                                                                                                                                                                                       |                             |                             |
| 1975(シネ・サイエンス)◎◎ <i>武田純一郎</i> ◎ <i>長谷川高久</i> 、 <i>上原剛</i> ◎ <i>堀悦子</i> ◎ <i>画</i> 片山幹男◎ <i>伊藤惣一</i>                                                                                                                        |                             |                             |
| <b>たまごからヒトへ</b> (24分・16mm・カラー)                                                                                                                                                                                             |                             |                             |
| 1976(シネ・サイエンス)◎◎ <i>武田純一郎</i> ◎ <i>岸田衿子</i> ◎ <i>池野成</i> ◎ <i>画</i> 片山幹男◎ <i>岸田今日子</i>                                                                                                                                     |                             |                             |
| <b>あなのふしぎ</b> (17分・BD・カラー)                                                                                                                                                                                                 |                             |                             |
| 上映素材提供：株式会社アイカム                                                                                                                                                                                                            |                             |                             |
| 1978(シネ・サイエンス)◎◎ <i>徳成輝彦</i> ◎ <i>武田純一郎</i> ◎ <i>長谷川高久</i> 、 <i>杉山章</i> 、 <i>浅野勲</i> 、 <i>奥田幸夫</i> 、 <i>城戸能近</i> ◎ <i>池野成</i> ◎ <i>波瀬満子</i>                                                                                |                             |                             |
| 途中に約10分間の休憩があります。                                                                                                                                                                                                          |                             |                             |

| <i>20</i>                                                                                                                                                                                                                                     | 2/12 <span>(木)</span> 19:00 | 3/4 <span>(土)</span> 15:00 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| <b>本陣殺人事件</b> (106分・35mm・カラー)                                                                                                                                                                                                                 |                             |                            |
| 横溝正史による名探偵・金田一耕助ものの第1作を、個人映画出身の高林陽一が映画化。低予算ながら幻想的な世界観を構築し、この映画の成功が翌年の『犬神家の一族』(1976、市川崑)の製作につながった。金田一役は、日活、劇団民藝を経てフリーとなり、高林作品の常連でもあった中尾彬。ヒッピー風の中でたちで青春の彷徨者のごとき金田一像を体現した。                                                                       |                             |                            |
| 1975(たかばやしういちプロ＝映像京都＝ATG)◎ <i>中尾彬</i> ( <i>金田一耕助</i> )◎ <i>高林陽一</i> ◎ <i>横溝正史</i> ◎ <i>森田富士郎</i> ◎ <i>西岡善信</i> ◎ <i>大林宣彦</i> ◎ <i>田村高廣</i> 、 <i>高沢順子</i> 、 <i>水原ゆう紀</i> 、 <i>東野孝彦</i> 、 <i>新田章</i> 、 <i>常田富士男</i> 、 <i>東竜子</i> 、 <i>三戸部スエ</i> |                             |                            |

| <i>21</i>                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 12/16 <span>(火)</span> 18:30 | 12/23 <span>(火)</span> 15:00 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <b>はらから 同胞</b> (127分・35mm・カラー)                                                                                                                                                                                                                                                                               |                              |                              |
| 岩手県松尾村の青年会が、東京の劇団「統一劇場」を招いて公演を実現すべく奮闘する姿を描く。経済成長に伴い過疎化が進む農村社会へのノスタルジアが感じられる一作。公演シーンでは、5台のカメラを動員した大がかりな撮影が行われた。青年会の一員を演じる赤塚真人は、本作をきっかけに数々の山田洋次監督作品にも出演し、誠実さとユーモアを覗かせる助演でTVドラマでも活躍した。                                                                                                                          |                              |                              |
| 1975(松竹大船)◎ <i>赤塚真人</i> ( <i>斉藤忠治</i> )◎◎ <i>山田洋次</i> ◎ <i>朝間義隆</i> ◎ <i>高羽哲夫</i> ◎ <i>佐藤公信</i> ◎ <i>岡田京子</i> ◎ <i>倍賞千恵子</i> 、 <i>寺尾聰</i> 、 <i>松尾村青年会員</i> 、 <i>統一劇場劇団員</i> 、 <i>下條正巳</i> 、 <i>大滝秀治</i> 、 <i>井川比佐志</i> 、 <i>三崎千恵子</i> 、 <i>下條アトム</i> 、 <i>杉山とく子</i> 、 <i>今福正雄</i> 、 <i>市毛良枝</i> 、 <i>渥美清</i> |                              |                              |

| <i>22</i>                                                                                                                                                                                      | 2/13 <span>(金)</span> 14:00 | 3/13 <span>(金)</span> 16:30 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <b>わたしのSEX白書 絶頂度*</b><br>(71分・35mm・カラー)                                                                                                                                                        |                             |                             |
| やくざ(益富)から猥褻な写真を受け取った病院の採血係(三井)が性に目覚め自らを変容させていくさまを描いたロマンポルノ。1955年、日活に入社した白鳥あかねはスク립ターとして斎藤武市、神代辰巳など数多くの監督作品に関わり、黎明期の日活ロマンポルノでは脚本家としても活躍。晩年はスクリプターの地位向上や地域映画祭の運営、川崎市アートセンターの設立に尽力し、映画文化普及にも力を入れた。 |                             |                             |
| 1976(日活)◎ <i>白鳥あかね</i> ◎ <i>曽根中生</i> ◎ <i>萩原憲治</i> ◎ <i>坂口武文</i> ◎ <i>コスモ・ファクトリー</i> ◎ <i>三井マリヤ</i> 、 <i>芹明香</i> 、 <i>益富信孝</i> 、 <i>村國守平</i> 、 <i>神坂ゆずる</i> 、 <i>梓ようこ</i> 、 <i>桑山正一</i>        |                             |                             |

| <i>23</i>                                                                                                                                                                                                   | 2/27 <span>(金)</span> 14:00 | 3/17 <span>(火)</span> 15:00 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <b>好色源平絵巻*</b> (62分・35mm・カラー)                                                                                                                                                                               |                             |                             |
| 源義朝(唐)と平清盛(菅)という対立する2人の武将の間で翻弄される常盤御前(八並)の姿を描いた時代劇。深尾道典は、大島渚の『絞死刑』(1968)など多くの脚本を残した異名の映画人であったが、監督を手がけた劇映画は『東映ポルノ』の『女医の愛欲日記』(1973)と本作のみに留まった。                                                                |                             |                             |
| 1977(東映)◎◎ <i>深尾道典</i> ◎ <i>唐十郎</i> ( <i>源義朝</i> )◎ <i>原田裕平</i> ◎ <i>高見哲也</i> ◎ <i>中本敏生</i> ◎ <i>菅貫太郎</i> 、 <i>八並映子</i> 、 <i>北山黄</i> 、 <i>本田エミ</i> 、 <i>山口ジュン</i> 、 <i>天竺五郎</i> 、 <i>大木晤郎</i> 、 <i>露乃五郎</i> |                             |                             |
| 上映素材提供：東映株式会社                                                                                                                                                                                               |                             |                             |

24 2/12(木)15:00 3/10(火)19:00

原色の蝶は見ていた(72分・16mm・カラー)

若い女性をひき逃げしてしまった夫婦(大和田、由美)が、事故を目撃した男(火野)から脅迫を受け、やがて男を殺す決意をする。テレビ朝日系「土曜ワイド劇場」で放映された増村保造監督のTV作品。原作は西村寿行「原色の蛾」。子役を経てTVの「国盗り物語」や「必殺」シリーズで人気を得た火野正平が、持ち前の脱力した怪演で印象を残す。

1978(大映映像＝俳優座映画放送＝テレビ朝日)◎火野正平(上田)、財津一郎(刑事)◎増村保造◎西村寿行◎山浦弘靖◎中川芳久◎今井高司◎山内正◎由美かおる、大和田伸也、武内享、中村たつ、前川哲男、望月太郎、木村四郎、鈴木正幸、後藤緑、香川えり子

25 2/17(火)19:00 3/7(土)13:00

月山(102分・35mm・カラー)

山岳信仰の山として知られる庄内地方の月山。冬は豪雪によって閉ざされるその山麓の村に飛び込んだ青年の姿を描いた芥川賞受賞小説の映画化。脚本の高山由紀子は本作の後、『遠野物語』(1982)、『上方苦界草紙』(1991)などで村野監督と組み、のちに自ら監督も務めた。劇団民藝を経て劇団銅鑼を設立した鈴木瑞穂は張りのある美声を活かし、歴史上の偉人、政治家、官僚、軍人役などに余人をもって代え難い存在感を発揮した。

1979(権の会＝鐵プロ＝俳優座映画放送)◎高山由紀子◎鈴木瑞穂(方丈)◎製作村野鐵太郎◎製作佐藤正之、太田六敏◎森敦◎高間賢治◎横尾嘉良◎松村禎三◎河原崎次郎、友里千賀子、滝田裕介、井川比佐志、稲葉義男、片桐タ子、菅井さん、小林尚臣、河原崎長一郎

26 2/18(水)19:00 3/1(日)13:00

翔ベйкаロスの翼(112分・35mm・カラー)

実話にもとづく青春映画。シンガーソングライターのさだまさしが主演を務め、主題歌「道化師のソネット」はさだの代表曲のひとつとなった。写真家志望の青年・栗山徹(さだ)は撮影旅行の道中で巡り合ったサーカスの世界に魅せられ、やがて危険な曲芸にも挑戦するピエロとして人気者になっていく。劇団民藝の創設メンバーにして看板俳優だった奈良岡朋子が主人公の母親を演じている。

1980(翼プロ)◎奈良岡朋子(徹の母)◎森川時久◎草鹿宏◎山崎善三◎中尾駿一郎◎美村木忍◎うさだまさし◎原田美枝子、尾藤イサオ、宮口精二、曽我廼家五郎八、橋本功、蟹江敬三、三木のり平、ヨネヤママコ、倍賞美津子、八幡肇

27 2/10(火)15:00 3/7(土)16:00

魔界転生(122分・35mm・カラー)

山田風太郎の同名小説(初出連載時は「おぼろ忍法帖」)を原作に、死から甦った天草四郎(沢田)率いる魔界衆に立ち向かう柳生十兵衛(千葉)という荒唐無稽なストーリーを映画化した大作。奇想天外な世界を見事に作り上げた井川徳道は、本作で日本アカデミー賞最優秀美術賞を受賞。また、初めて本作で映画に携わった人形作家・辻村ジュサブローによる妖艶な衣裳が作品世界を彩っている。

1981(東映＝角川春樹事務所)◎井川徳道 美術設定◎辻村ジュサブロー ◎大塚弘(宗五郎)、鈴木瑞穂(小笠原少斎)、三谷昇(旅僧)◎深作欣二◎山田風太郎◎野上龍雄、石川孝人◎長谷川清◎佐野義和◎山本邦山、菅野光亮◎沢田研二、千葉真一、佳那晃子、真田広之、成田三樹夫、室田日出男、丹波哲郎、久保菜穂子、神崎愛、菊地優子、緒形拳、若山富三郎

28 12/13(土)13:00 12/25(木)18:30

戦場のメリークリスマス(123分・35mm・カラー)

ローレンス・ヴァン・デル・ポストの「影の獄にて」を日英合作で映画化。デヴィッド・ボウイ、坂本龍一、ビートたけしという異色の配役、シンセサイザーの音色が印象的な坂本の楽曲も話題を呼んで大ヒットを記録した。多彩な音楽活動で国際的に活躍した坂本は本作で初めて映画音楽に取り組み、転機になったと語っている。以降は活動の幅をさらに広げ、国内外の映画音楽でも活躍した。

1983(シネペンチャー・プロ＝レコーデッド・ピクチャーカンパニー＝大島プロ＝テレビ朝日＝ブロードバンク・インヴェストメント)◎坂本龍一(ヨノイ大尉)◎坂本大島渚◎サー・ローレンス・ヴァン・デル・ポスト◎ポール・マイヤー◎スパーグ◎成島東一郎◎戸田重昌◎デヴィッド・ボウイ、トム・コンティ、ビートたけし、ジャック・トンブソン、ジョニー大倉、内田裕也、戸浦六宏、室田日出男

29 12/17(水)19:00 12/24(水)15:00

きつね(104分・35mm・カラー)

北海道の釧路で水の研究を続ける緒方(岡林)は、14歳の少女・万耶(高橋)と親しくなるが、彼女は難病に冒されていた。やがて緒方は万耶の願いを受けて、オホーツクの流水に現れるというきつねを撃とうとする。松竹で野村芳太郎、加藤泰の助監督を務めた仲倉重郎は、野村の製作のもと、この作品で監督デビューを果たした。

1983(日本天然色映画＝霧プロ＝松竹)◎仲倉重郎◎井手雅人◎坂本典隆◎浜野信男◎千野秀一◎岡林信康、高橋香織、原田大二郎、野村昭子、小林哲子、矢野宣、阿藤海、山谷初男、浜村純、三田佳子

上映素材提供：松竹株式会社

30 12/13(土)19:00 12/21(日)13:00

ロケーション(99分・35mm・カラー) NEW

ロケーションに繰り出したものの、次々にアクシデントに見舞われるピンク映画の撮影隊。映画の行く末を託されたカメラのベアーヤン(西田)は、急遽主役に抜擢した娘(美保)の人生を追いかけていくうち、虚実の裂け目をさまよいはじめる。映画の内幕劇を超越した情念の劇へと到達する森崎東の怪作。喜劇から重厚な大作まで幅広く活躍した西田敏行の身体性が映画の躍動と見事に呼応している。

1984(松竹)◎美保◎小池直美◎西田敏行(ベアーヤン)◎森崎東◎津田一郎◎近藤昭二◎水野征樹◎福留八郎◎佐藤允彦◎大楠道代、美保純、柄本明、竹中直人、佐藤B作、和由布子、加藤武、アバッチけん、ふとがね金太、殿山泰司、初井言榮、根岸明美、乙羽信子、愛川欽也

31 2/27(金)16:30 3/20(金)14:30

絶倫海女 しまり貝\*(69分・35mm・カラー)

観光開発業者による土地買収騒動に揺れ動く町で、女子大生の網元の娘(清里)や海女たちの情動が交錯する。藤浦敦は「喜劇 いじわる大障害」(1971)にて監督デビューを果たすと、その後「海女もの」や「温泉もの」などのロマンポルノで力を発揮した。生家の青果問屋は落語界の支援者として知られ、しばしば監督作には落語家が出演する。

1985(につかつ)◎藤浦敦◎池田正一◎水野尾信正◎中澤克己◎ジミー時田◎清里めぐみ、伊藤久美子、永野真大、よしのまこと、野上正義、橘家三三蔵、藤ひろ子、志水季里子、小川亜佐美、立川談志

上映素材提供：日活株式会社

32 2/22(日)13:00 3/14(土)13:00

ドラえもん のび太と鉄人兵団(98分・35mm・カラー)

藤子・F・不二雄原作の国民的人気アニメ「ドラえもん」の劇場版長篇第7作。地球の鏡面世界を舞台に、ドラえもんたちが人間を奴隷化しようとするロボット兵団に立ち向かう。ドラえもん役の大山のぶ代、のび太役の小原乃梨子は同役をはじめ膨大な数のアニメ作品、外国映画吹替等で声優として活躍。川本征平は、アトリエーク(現アトリエーク07)を設立して日本のアニメーション美術を牽引し、多くの後進を育成した。柏原渥は、「鉄腕アトム」などアニメ黎明期から音響に携わり、特に「ドラえもん」はTVシリーズ、劇場版ともに長期にわたる代表作となった。

1986(シンエイ動画＝小学館＝テレビ朝日) 美術設定◎川本征平 音響監製◎柏原渥 ◎大山のぶ代(ドラえもん)、小原乃梨子(のび太) ◎芝山努◎藤子不二雄◎水出弘一◎斉藤秋男(アフレコ) 本田敏行 作画監修◎富永貞義◎高野正道◎菊池俊輔(たてかべ和也、肝付兼太、野村道子、加藤正之、千々松幸子、田中亮一、山本百合子、三ツ矢雄二、熊倉一雄

33 2/13(金)16:30 3/6(金)16:00

うれしはずかし物語(89分・35mm・カラー)

会社でも家庭でも申し分ない境遇にあるはずがどこか満たされないサラリーマンの三国裕介(寺田)は、若い女チャコ(川上)と秘密の契約を結ぶ。脚本の竹山洋はTV中心にキャリアを重ね、映画では市川崑の『四十七人の刺客』(1994)、『かあちゃん』(2001)などを執筆、ジョージ秋山の同名漫画を脚色したこの作品では中年男の心情に肉薄した。枯れた魅力を増した寺田農が等身大の男性像を軽妙に演じている。

1988(につかつ)◎竹山洋◎寺田農(三国裕介)◎東陽一◎ジョージ秋山◎川上皓市◎内田欣哉◎川上麻衣子、本阿弥周子、麻生かおり、渡浩行、佐久間哲、草見潤平、三田村賢二、島村紀之、持田美保、梅津栄

34 2/22(日)16:00 3/22(日)13:00

火垂るの墓(88分・35mm・カラー)

自身の戦争体験にもとづく野坂昭如の同名小説を高畑勲がアニメーション映画化。空襲により戦争孤児となった清太と節子の兄妹は、身を寄せた親戚の家を離れ2人だけで生きていこうとするが…。山本二三の背景美術が、高畑の企図したリアリティを支えている。音楽は1950年代より日本の現代音楽を牽引した間宮芳生が手がけ、彼にとって映像音楽の代表作となった。

1988(新潮社)◎山本二三◎間宮芳生◎高畑勲◎野坂昭如 原案◎キョウカゲデザイン(作画監督) 近藤喜文◎小山信夫◎辰巳努、白石綾乃、志乃原良子、山口朱美、端田宏三、酒井雅代

35 2/13(金)19:00 3/13(金)13:30

行き止まりの挽歌 ブレイクアウト(110分・35mm・カラー)

藤竜也が一匹狼的な刑事役で16年ぶりに日活映画に主演したハードボイルド。暴力団の幹部を演じた団時朗は、何といっても「帰ってきたウルトラマン」での主役が記憶に残るが、長身と歌唱力を活かした『わが命の唄艶歌』(1968、舩田利雄)での歌手役や後年の数々の舞台、ミュージカル公演での活躍も忘れられない。

1988(につかつ)◎団時朗(福永)◎村川透◎栗本薫◎柏原寛司◎矢田行雄◎中澤克己◎鈴木清司◎藤竜也、石野陽子、成田三樹夫、一色彰子、岡本舞、中条きよし、石橋達司

36 2/19(木)15:00 3/21(土)19:00

いこかもどろか(109分・35mm・カラー)

証券会社のサラリーマン(さんま)と会社の金に手をつけたOL(大竹)の逃避行を2人の弾けるような掛け合いのなかに描いたロードムービー。監督の生野慈朗はTBSのドラマ演出家で、同コンビの共演で人気を博した「男女7人」シリーズほか数々のヒットドラマを手がけ、本作で劇場映画監督デビュー。『食べる女』(2018)まで5本の劇映画を監督した。

1988(東京放送＝東宝)◎生野慈朗◎白鳥あかね◎鎌田敏夫◎仙元誠◎桑名忠之、大嶋修一◎恒川光昭◎明石家さんま、大竹しのぶ、小林稔侍、加藤善博、阿藤海

37 2/17(火)15:00 3/22(日)15:30

黒い雨(123分・35mm・白黒)

広島への原爆投下による黒い雨を浴びた後の人生を題材に、敗戦から5年後の矢須子(田中)の結婚話をめぐり、原爆症や心身の戦争後遺症を抱えながら懸命に生きる人々の悲喜劇を描く。郵便局長を演じた三谷昇は、異彩を放つ個性派俳優としてジャンルを超え幅広い作品で力量を発揮した。岡崎屋タツを演じた山田昌は、名古屋弁を活かした演技が評価され、舞台やTVを中心に活躍した。

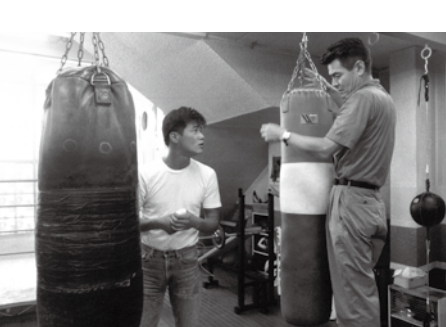
1989(今村プロ＝林原グループ)◎山田昌(岡崎屋タツ)、三谷昇(郵便局長)◎今村昌平◎井伏鱒二◎石堂淑朗◎川又昂◎福垣尚夫◎武満徹◎田中好子、北村和夫、市原悦子、大滝秀治、殿山泰司、小沢昭一、三木のり平

38 2/15(日)15:45 3/15(日)12:30

鉄拳(127分・35mm・カラー)

前作の『どついたるねん』(1989)で鮮烈なデビューを果たした阪本順治が、再びボクシングを題材にとり、ボクシングに賭ける中年男(菅原)と事故で負傷したボクサー(大和)の再起までの道のりを描く。美術を担当した高橋章は、「仮面ライダー」シリーズの怪人デザインを多く手がけ、シリーズの人気に大きく寄与した。1970年代後半からは劇映画の美術監督としても活動し、深作欣二監督作品などの美術を手がけた。

1990(荒戸源次郎事務所)◎高橋章◎阪本順治◎笠松則通◎梅沢茂◎菅原文太、桐島かれん、大和武士、大楠道代、藤田敏八、萩原聖人、原田芳雄、八幡肇



鉄拳

39

2 / 15(日)13:00

3 / 5(木)15:00

われに撃つ用意あり

READY TO SHOOT

(106分・35mm・カラー)

郷田(原田)が営む新宿歌舞伎町のスナックが閉店する日、店にはかつての全共闘の仲間が集っていた。暴力団に追われる難民のメイラン(呂)を行きがかりで匿った郷田は、自身の過去におとしまえるをつけるため組織に立ち向かっていく。編集の鈴木敏は日活撮影所編集部を経てフリーとなり、若松孝二、廣木隆一、黒沢清らの作品に参加、京都芸術大学で後進育成にも尽力した。

1990(松竹＝若松プロ)◎**編監 鈴木敏**◎**製作** 若松孝二◎**監** 佐々木譲◎**丸** 内敏治◎**伊** 東英男、田中一成、佐久間米一◎**編** 遠山千秋◎**出** 梅津和時◎**原** 岡芳雄、桃井かおり、呂嬌菱、山口美也子、斉藤洋介、西岡徳馬、小倉一郎、磨赤児、吉澤健之、佐野史郎、奥村公延、草雄良一、牧口元美、山谷初男、室田日出男、石橋蓮司、蟹江敬三

40

2 / 20(金)16:00

3 / 15(日)16:00

東京上空いらいっしょいませ

(109分・35mm・カラー)

キャンペーンガールとして町中にポスターが溢れるユウ(牧瀬)は、不慮の事故でこの世を去る。それでも気のいい天界の死神を欺いて地上に戻り、活動を続けるのだが…。本作は松竹のプロデューサー榎望(ペンネーム榎祐平)のオリジナルシナリオによる脚本家デビュー作。榎はプロデューサー・脚本家として、以後、数々の秀作を遺した。装飾の小池直実(は相米慎二、滝田洋二郎、若松朗朗監督作を中心に活躍した。

1990(ディレクターズ・カンパニー＝バンダイ＝松竹第一興行)◎**榎祐平**◎**監** 小池直実◎**相** 米慎二◎**稲** 垣涌三◎**小** 川富美夫◎**安** 室克也◎**中** 井貴一、牧瀬里穂、笑福亭鶴瓶、竹田高利、藤村俊二、穂谷友子、出門英、工藤正貴、谷啓、河内桃子、三浦友和

41

2 / 20(金)13:00

3 / 13(金)19:00

渋滞

(109分・35mm・カラー)

木下恵介プロで助監督を務めた後、長瀬剛主演のTVドラマ「とんぼ」(1988)などの脚本を手がけた黒土三男の第2作。故郷へと帰省する一家が渋滞をめぐる数多のトラブルに巻き込まれながらも、家族の絆を深めていくロードムービー。高度成長期の帰省の様子が戯画化され、郷愁を誘う娯楽作となった。クレージーキャッツの犬塚弘が演じた、連絡船の船長の品格ある佇まいが印象に残る。

1991(サントリー＝三菱商事＝ニュー・センチュリー・プロデューサーズ)◎**黒土三男**◎**スクリプト** 白鳥あかね◎**犬塚弘**(**遠藤船長**)◎**佐** 藤峰世◎**高** 間賢治◎**丸** 山裕司◎**ケ** ニー・G◎**秋** 原健一、黒木瞳、宝田純子、湯澤真佐、清水美砂、緒形幹太、かたせ梨乃、中村嘉津雄、小林亜星、浜村純、東恵美子、岡田英次

42

2 / 20(金)19:00

3 / 1(日)16:00

いつか どこかで

(110分・35mm・カラー)

建設会社に勤める正木(時任)はライバル会社に勤める冬子(藤原)に心惹かれる。やがて2人の関係は両社の対立のなかで思いもよらぬ事態に発展し…。TVの装飾スタッフを経て映画界入りの尾関龍生は、三池崇史、北野武らの作品で手腕を発揮。シンガーソングライターの小田和正が念願の映画監督デビューを果たしたこの作品は、尾関自身「印象に残った仕事」として挙げている。

1991(ファー・イースト・クラブ＝ファンハウス)◎**監** 尾関龍生◎**小** 田和正◎**西** 浦清◎**磯** 田典宏◎**木** 下智明◎**時** 任三郎、宅麻伸、藤原礼実、八千草薫、岡田真澄、津川雅彦

43

12 / 14(日)16:00

12 / 26(金)19:00

ゴジラVSキングギドラ

(103分・35mm・カラー)

「平成ゴジラ」シリーズの2作目で、大森一樹監督らしいハリウッドSF映画へのオマージュが満載の娯楽性溢れる一篇。薩摩剣八郎は中山剣吾の名で『ゴジラ対ヘドラ』(1971、坂野義光)のヘドラ役を務め、以後、脇役やスーツアクターとして活躍、『ゴジラ』(1984、橋本幸治)から『ゴジラVSデストロイア』(1995、大河原孝夫)までゴジラ役を演じ続けた。

1991(東宝映画)◎**スクリプト** 薩摩剣八郎◎**監** 大森一樹◎**関** 口芳則◎**特** 技監 関川北統一◎**酒** 井賢◎**伊** 福部昭◎**中** 川安奈、豊原功補、小高恵美、原田貴和子、小林昭二、上田耕一、佐々木勝彦、チャック・ウィルソン、時任三郎、山村聡、西岡徳馬、土屋嘉男

44

2 / 19(木)19:00

3 / 18(木)15:00

12人の優しい日本人

(115分・35mm・カラー)

三谷幸喜が主宰する劇団「東京サンシャインボーイズ」の舞台を映画化。シドニー・ルメットの映画でも知られるレジナルド・ローズ原作「十二人の怒れる男」を下敷きにある事件をめぐる12人の陪審員の審議をとおして日本人の群像を戯画的に描く。装飾の山田好男は今村昌平作品などに参加した後、2000年に「グループ飾り屋」を設立、日本映画の第一線で活躍し続けた。

1991(ニュー・センチュリー・プロデューサーズ＝サントリー＝日本テレビ)◎**監** 山田好男◎**中** 原俊◎**三** 谷幸喜と東京サンシャインボーイズ◎**高** 間賢治◎**稲** 垣尚夫◎**塩** 見三省、相島一之、豊川悦司、村松克己、加藤善博、二瓶鮎一、林美智子、上田耕一、大河内浩、梶原善、中村まり子、山下容莉枝、近藤芳正、久保晶

45

2 / 25(木)15:00

3 / 14(土)18:45

地球交響曲

GAIA SYMPHONY

(130分・35mm・カラー)

NHKの報道・教育局を経て、多岐にわたる作品を制作した龍村仁が、晩年にライフワークとして手がけた全9作の第1作。世界の8千メートル級の山を登り続けたメッサーをはじめ、各分野で大きな仕事を成し遂げた6名による詩的な言葉を通じて、人間と自然、そして地球という大きな生命体との調和を探索した壮大なドキュメンタリー。科学の進歩がもたらした危機に警鐘を鳴らす。

1992(オンザロード)◎**龍村仁**◎**本** 田茂◎**ライ** ンホルト・メスナー、ダフニー・シェルドリッック、野澤重雄、エンヤ、鶴岡真弓、ラッセル・シュワイカート◎**木** 内みどり、榎本孝明

46

2 / 18(木)15:00

3 / 6(金)12:30

橋のない川

(139分・35mm・カラー)

住井すゑのベストセラー小説をもとに、明治から大正にかけて人間の尊厳を掲げて差別に抗った人々の生活を、抑制された演出で描いた叙事詩的映画。生駒山のトンネル事故で命を落とす被差別部落の男・志村広吉を演じた寺田農と、その妻を演じた加茂さくらの繊細かつ人間味あふれた演技が壮大な人間ドラマに彩りを添えている。

1992(ガレリア＝西友)◎**加茂さくら**(**志村かね**)、◎**寺田農**(**志村広吉**)◎**東** 陽一◎**住** 井すゑ◎**金** 秀吉◎**川** 上皓市◎**内** 藤昭◎**エル** ネスト・カプール◎**大** 谷直子、杉本哲太、渡部篤郎、高岡早紀、安永亜衣、中島ひろ子、辰巳琢郎、萩原聖人、中村嘉津雄、中村玉緒、高橋悦史

47

2 / 27(金)19:00

3 / 20(金)17:00

絶倫!! 好色一代

『ニッポンの猿蓑』改題版\*

(58分・35mm・カラー)

公開時の題名である『ニッポンの猿蓑』として知られる本作は、新東宝映画の創立30周年記念作品として製作された。老年期にさしかかった自称性学者の橋本鉄(久保)が、自らの鮮烈な性体験を軸にその生涯を振り返る。ピンク映画での圧倒的な存在感から「ボルの帝王」と呼ばれた久保新二は、「未亡人下宿」シリーズ(1974-1984)の「尾崎」役に代表されるような、溢れ滾るエネルギーで観客を魅了した。

1993(新東宝映画)◎**久保新二**(**橋本鉄**)◎**深** 町章◎**瀬** 々敬久◎**稲** 吉雅志◎**橋** 本杏子、アイリーン、林由美香、石川恵美、岸加奈子、山本竜二、池島ゆたか、平賀勘一、快樂亭ブラック

48

2 / 26(木)19:00

3 / 11(木)15:00

急にたどりついてしまう

(90分・35mm・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

東京の郊外を舞台に、終わりにかけた青春を生きる青年と周囲の人々の日常を描く。福岡健二は、高校生の頃から若松孝二の現場に出入りし、大学在学中には自主映画も制作。詩人、映画評論家として評価を得る一方、この作品で長篇映画監督デビューを果たし、以後も『岡山の娘』(2008)、『きのう生まれたわけじゃない』(2023)などの監督作を発表した。

1995(タフ・ママ)◎**監** 作 福岡健二◎**小** 西泰正◎**THE** WAR BABYS、d-ga-show◎**伊** 藤猛、松井友子、今泉浩一、小林節彦、田中要次、伊藤清美、原将人、北風太陽

上映素材提供：福岡市総合図書館

49

12 / 20(土)19:00

12 / 25(木)15:00

Love Letter

(116分・35mm・カラー)

同姓同名の男女2人の存在がもたらした恋の奇跡を描いた岩井俊二監督の長篇デビュー作。阿部秀司は1986年にCM制作会社ROBOTを設立し、のちに映画部を開設して新人監督のデビュー作をプロデュース。岩井俊二、本広克行、山崎貴、羽住英一郎らを日本映画界に送り出した。中山美穂はTVドラマのツッパリ少女役で人気を博し、歌手としてもデビュー、快活なアイドルとして絶大な人気を博したが、本作は本格女優への脱皮を図った記念すべき作品となった。

1995(フジテレビジョン)◎**スクリプト** ア部秀司◎**監** 白鳥あかね◎**中** 山美穂(**渡辺博子**／**藤井樹**)◎**若** 井俊二◎**篠** 田界◎**美** 細石照美◎**RE** MEDIOS◎**豊** 川悦司、范文雀、篠原勝之、酒井美紀、柏原崇、光石研、鈴木慶一、田口トモロヲ、中村久美、鈴木蘭々、塩見三省、加賀まりこ

50

3 / 8(日)13:00

3 / 14(土)16:00

学校の怪談4

(99分・35mm・カラー)

1995年公開の第1作以降、夏休みの子ども向け映画として定番化していたシリーズの第4作。1、2の平山秀幸(監督)、奥寺佐渡子(脚本)コンビが再登板し、学校を舞台としたジューナイル・ホラーの色合いが濃かった前作までに対して、海辺の町を舞台とする古典的な怪談映画に仕立てた。平山に画力を見出され画コンテ担当となった橋爪謙始は同シリーズ全作を手がけ、「平成ウルトラマン」シリーズなどでも活躍した。

1999(東宝＝サンダンス・カンパニー)◎**コンテ** 橋爪謙始◎**平** 山秀幸◎**常** 光徹、日本民話の会◎**奥** 寺佐渡子◎**柴** 崎幸三◎**中** 澤克己◎**宇** 崎竜童◎**豊** 田真唯、広瀬斗史輝、笑福亭松之助、皆川優紀、竹島由夏、坂井英人、塚田光、久保孝典、長者康之、綾田俊樹、根岸季衣、原田美枝子

51

3 / 8(日)16:00

3 / 19(木)15:00

死に花

(120分・35mm・カラー)

高級老人ホームに暮らす元映画プロデューサーの菊島(山崎)が、周囲の人々を巻き込んで大胆不敵にも銀行の金庫破りを目論むコメディ。岡瀬晶彦は、是枝裕和や行定勲の監督作など数多くの日本映画で音響効果を担当し、自然で繊細な音作りで作品に貢献した。中村靖日は、作品世界に広がりを与える名パイプレイヤーとして独特の存在感を放った。

2004(「死に花」製作委員会)◎**音** 響効果 岡瀬晶彦◎**中** 村靖日◎**犬** 童一心◎**太** 田蘭三◎**小** 林弘利◎**柏** 野直樹◎**磯** 田典宏◎**周** 防義和◎**山** 崎努、青島幸男、谷啓、長門勇、藤岡琢也、松原智恵子、星野真里、加藤治子、森繁久彌、宇津井健

52

2 / 26(木)15:00

3 / 12(木)15:00

ショージとタカオ

(158分・DCP・カラー)

1967年に茨城県布川で発生した強盗殺人事件(布川事件)の犯人とされ、29年にわたる獄中生活を経て仮釈放された桜井昌司(ショージ)と杉山卓男(タカオ)。羽田澄子のもとでドキュメンタリー制作の経験を積んだ井手洋子が、2人の冤罪被害者に寄り添いながら、彼らが再び人生の喜びを見出していく様を丁寧に描き出している。

2010(「ショージとタカオ」上映委員会)◎**監** 編 井手洋子◎**寺** 嶋峰哉

上映素材提供：株式会社バンドラ



急にたどりついてしまう

久我美子 (1931－2024)

華族の家柄に生まれるも原節子に憧れ、15歳で第1期東宝ニューフェイスに応募し合格。境遇に負けぬ芯の強い女性像を数々演じて多くの名匠に起用された。1954年には当時の五社協定を標的に、自由に作品を選びたいと、有馬稲子、岸恵子とともに「文芸プロダクションにんじんくらぶ」を設立した。

53 2/14(土)13:30 3/3(火)19:00

億万長者 (83分・35mm・白黒)

戦後約10年の様変わりした日本社会を背景に、政界汚職、原水爆問題などをシュールな視点で描いたブラック喜劇。「にんじんくらぶ」設立後に本作に出演した久我は、原爆で家族を亡くした仇を討つため独学で原爆を開発する少女すてを熱演、登場シーンは少ないながらも印象を残し、他の作品での演技と合わせて毎日映画コンクール女優助演賞を受賞した。

1954(青年俳優クラブ) ●久我美子(鏡すて) ●市川崑 ●安部公房、横山泰三、長谷部慶次、和田夏十 ●伊藤武夫 ●平川透哉 ●団伊玖磨 ●木村功、高原駿雄、春日俊二、岡田英次、左幸子、山田五十鈴、伊藤雄之助、多々良純

54 2/14(土)16:00 3/4(木)19:00

挽歌 (116分・35mm・白黒)

22才の怜子(久我)は幼少時から関節炎を患い、以来、心弾まぬ人生を送ってきた。彼女は深い苦悩を湛えた中年の建築士・桂木(森)に惹かれるが、彼の苦悩の原因が妻(高峰)と若い男性との不倫にあると知り、いっそう桂木にのめり込んでいく。久我演じる怜子は小説のイメージ通りと絶賛され、生前の久我もこの役を自身のベスト3に挙げた。

1957(歌舞伎座) ●久我美子(兵頭怜子) ●五所平之助 ●原田康子 ●八住利雄、由起しげ子 ●瀬川順一 ●久保一雄 ●芥川也寸志 ●森雅之、高峰三枝子、渡辺文雄、石浜朗、齊藤達雄、浦辺条子、中村是好、高杉早苗

55 2/14(土)19:00 3/5(木)19:00

119 (115分・35mm・カラー)

18年間火事が起きていない海辺の小さな町の消防団員たち。ある日町にやって来た一人の女性が彼らの日常にささやかな変化をもたらしていく。竹中直人の監督第2作。小津安二郎作品を愛する竹中は、久我美子をヒロインの伯母、須賀不二男を自身の役の父親に配役にオマージュを捧げている。

1994(松竹=テレビ東京=イメージファクトリー・アイエム) ●久我美子(鴨下靖代) ● ● ●竹中直人 ●筒井ともみ、宮沢章夫 ●佐々木原保志 ●斉藤若男 ●忌野清志郎 ●赤井英和、鈴木京香、塚本晋也、温水洋一、浅野忠信、津田寛治、須賀不二男



億万長者

チケット購入方法

|         | 一般                                | 高校・大学生・65歳以上 | 小・中学生 | 障害者手帳をお持ちの方(付添者1名まで)・キャンパスメンバーズ |
|---------|-----------------------------------|--------------|-------|---------------------------------|
| チケット料金  | 520円                              | 310円         | 100円  | 無料                              |
| オンライン販売 | 各上映日の3日前正午から各上映回の開映15分前まで         |              |       |                                 |
| 窓口販売    | 各上映回の開映1時間前から5分前まで若干数販売、お支払いは現金のみ |              |       |                                 |

- \* 電子チケットは、当館HPより公式チケットサイトにてオンライン販売します。
- \* 料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
- \* 学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、国立美術館のキャンパスメンバーズは証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。
- \* 未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者等券」をお求めください。

小沼勝 (1937－2023)

北海道小樽市生まれ。1961年、日活に入社。助監督として経験を積んだ後、1971年に『花芯の誘い』で映画監督デビューを果たす。以後、ロマンポルノの代表的監督として40本以上の作品を手がけた。歪な男女の関係性を耽美的に描写することに定評があり、その資質はSMものにおいて最も顕著に発揮された。

56 2/21(土)15:00 3/11(水)18:30

生贄夫人\* (70分・35mm・カラー)

『花と蛇』(1974)に続いて、小沼と谷ナオミのコンビで描くSMシリーズ第2弾。生け花を教えながら暮らしている秋子(谷)のもとに、出奔した夫・国貞(坂本)が現れる。国貞によって強引に捕らえられた秋子は異常な性行為の餌食となっていく。坂本長利は1953年に劇団「ぶどうの会」で初舞台を踏むと、1969年からは映画にも出演。ロマンポルノを中心に中年男のエゴと弱さを巧演した。

1974(日活) ●小沼勝 ●坂本長利(国貞) ●田中陽造 ●森勝 ●土屋伊豆夫 ●月見里太一 ●谷ナオミ、東てる美、影山英俊、中平哲仁、高山千草、小見山玉樹、庄司三郎、谷文太

さすらいの恋人 眩暈\* (74分・35mm・カラー)

真冬の公園で出会った男女が、互いの空虚な心を埋めあうように惹かれあっていく。小沼の確かな演出は、苦境に耐えながら都会で生きる男女の姿に漂う寂寥感と官能性を見事に引き出している。大工原正泰は『何もかも狂ってやがる』(1962、若杉光夫)で脚本家デビュー後、日活ロマンポルノを中心に活躍。佐々木志郎は日活のロマンポルノ製作を企画部として主導しながら、多くの新人脚本家の発掘にも貢献した。

1978(日活) ●小沼勝 ●坂本長利 ●大工原正泰 ●画佐々木志郎 ●森勝 ●川船夏夫 ●真田勉 ●小川恵、飛鳥裕子、北見敏之、高橋明、吉川遊士、大矢甫、草薙良一、中川明

57 2/21(土)18:30 3/12(木)18:30

妻たちの性体験 夫の眼の前で、今…\* (69分・35mm・カラー)

優雅な暮らしをする坂本(宇南山)と妻の沙織(風祭)だが、性的には倦怠期を迎えていた。坂本の不倫が引き起こした事件によって、表面上は穏やかな2人の日常は崩壊の一途を辿っていく。日常と地続きの異常が露露する瞬間を、小沼の演出はリアリティと美的な構図を両立させて描き出した。

1980(につかつ) ●小沼勝 ●小水一男 ●森勝 ●菊川芳江 ●甲斐八郎 ●風祭ゆき、高原リカ、佐々木美子、宇南山宏、鎗堂連、草薙良一、佐藤秀美、川島祐介、荻原徹也、池田光隆

見せたがる女\* (67分・35mm・カラー)

出張の多い夫(沼田)を家に留めたい妻(風間)の欲望が、アパートの隣室を交えた大騒動へと発展する破壊的なコメディ。小沼が追究し続けたSMに代表される男女の歪な権力関係が、笑いを生み出す装置へと昇華されている。沼田爆はTVドラマを中心に活躍し、フジテレビ版「鬼平犯科帳」シリーズ(1989-2016)の「猫どの」役など、作品にアクセントを加えるキャラクターを数多く演じた。

1981(につかつ) ●小沼勝 ●沼田爆(加納誠) ●三井優 ●水野尾信正 ●柳生一夫 ●甲斐八郎 ●風間真智、志麻いづみ、北原理絵、高原リカ、平光琢也、吉原正皓

中島貞夫 (1934－2023)

千葉県生まれ。東京大学文学部卒業後、東映に入社。京都撮影所でマキノ雅弘らに師事する。1964年、『くノ一忍法』で監督デビュー。『893愚連隊』(1966)、『あゝ同期の桜』(1967)などで注目され、1967年の退社後も東映作品を中心に多彩な作品を発表。1987年には大阪芸術大学教授に就任し、後進育成に力を注いだ。

58 2/28(土)13:00 3/18(水)19:00

くノ一化粧\* (90分・35mm・カラー)

肉体を武器にした女忍者の活躍を軽妙なタッチで描いた『くノ一忍法』(1964)に続くシリーズ第2作。豊臣家の財宝をめぐり、鍵を解く6個の鈴をそれぞれ胎内に持つ女忍者と幕府側の男忍者との戦いを描く。大映のスター俳優から1964年にフリーに転じてさらなる飛躍を遂げた弓恵子の確かな演技が光る。

1964(東映京都) ●中島貞夫 ●弓恵子(天姫) ●山田風太郎 ●倉本聰、金子武郎 ●赤塚滋 ●吉村晟 ●山本直純 ●西村晃、小沢昭一、春川ますみ、三島ゆり子、緑魔子、露口茂、多々良純、岬瑛子、芦屋雁之助

59 2/28(土)15:30 3/17(火)18:30

日本暗殺秘録 (142分・35mm・カラー)

『につぼん'69 セックス猟奇地帯』(1969)の興行的成功を背景に、テロリズムをドキュメンタリータッチで描いた問題作。血盟団事件と二・二六事件を主軸に、日本近代のテロリストたちがオムニバス形式で描かれる。中島は「非常に危険なシャシン」と認識した上で、入念な取材を敢行し、情念と狂気の狭間で蠢くテロリズムの思想を活写した。

1969(東映京都) ●中島貞夫 ●唐十郎(島田一郎) ●鈴木正 ●笠原和夫 ●吉田貞次 ●鈴木孝俊 ●富田勲 ●片岡千恵蔵、千葉真一、田宮二郎、藤純子、若山富三郎、高倉健、鶴田浩二、菅原文太、吉田輝雄 ●芥川比呂志

60 2/28(土)19:00 3/19(木)19:00

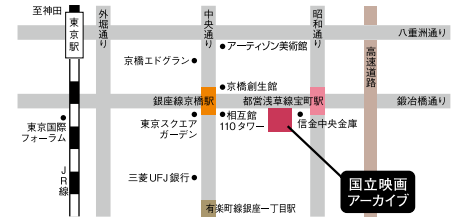
鉄砲玉の美学 (97分・35mm・カラー)

自身の破壊と引き換えに拳銃と百万円を手にしたテキ屋が、身の丈に合わない欲望を満たそうとあがく姿を鮮烈に描く。同年に公開された『仁義なき戦い』(深作欣二)とともに、やくざ映画の転換を象徴する一作となった。頭脳警察による楽曲が、惨めな過去や死の恐怖に怯えながら虚勢を張って突っ走るチンピラの美学を見事に体現している。

1973(ATG=白楊社) ●中島貞夫 ●PANTA(頭脳警察) ●野上龍雄 ●増田敏雄 ●頭脳警察 ●奥宮修 ●荒木一郎 ●渡瀬恒彦、杉本美樹、森みつる、小池朝雄、川谷拓三、碧川ジュン



日本暗殺秘録



国映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6  
▼交通:  
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線京町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600  
ホームページ: www.nfaj.go.jp

長瀬映像文化財団 国映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。  
上映会番号 490

# 逝ける映画人を偲んで 2023-2024

In Memory of Film Figures We Lost in 2023-2024

## 第1期

|     |      |                             |                             |                            |
|-----|------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 12月 | 9 ㊦  |                             | 15:00 ⑦ 若い季節 (88分)          | 19:00 ⑪ あこがれ (85分)         |
|     | 10 ㊦ |                             | 15:00 ② おトラさんのお化け騒動 (59分)   | 19:00 ① 慟哭 (114分)          |
|     | 11 ㊦ |                             | 15:00 ⑤ 狂熱の果て (78分)         | 19:00 ③ 東海道四谷怪談 (77分)      |
|     | 12 ㊦ | 14:00 ④ 打倒 KNOCK DOWN (82分) | 16:30 ⑥ ハイティーンやくざ (72分)     | 19:00 ⑫ 夢は夜ひらく (81分)       |
|     | 13 ㊦ | 13:00 ㉔ 戦場のメリークリスマス (123分)  | 16:30 ⑩ 女生きてます 盛り場渡り鳥 (89分) | 19:00 ㉑ ロケーション (99分)       |
|     | 14 ㊦ | 13:00 ⑩ 三大怪獣 地球最大の決戦 (93分)  | 16:00 ㉓ ゴジラVSキングギドラ (103分)  |                            |
|     | 16 ㊦ |                             | 15:00 ⑨ いれずみ半太郎 (90分)       | 18:30 ㉒ 同胞 (127分)          |
|     | 17 ㊦ |                             | 15:00 ⑪ あこがれ (85分)          | 19:00 ㉔ きつね (104分)         |
|     | 18 ㊦ |                             | 15:00 ① 慟哭 (114分)           | 19:00 ⑤ 狂熱の果て (78分)        |
|     | 19 ㊦ | 14:30 ② おトラさんのお化け騒動 (59分)   | 16:30 ⑫ 夢は夜ひらく (81分)        | 19:00 ⑦ 若い季節 (88分)         |
|     | 20 ㊦ | 13:00 ③ 東海道四谷怪談 (77分)       | 16:30 ④ 打倒 KNOCK DOWN (82分) | 19:00 ㉔ Love Letter (116分) |
|     | 21 ㊦ | 13:00 ㉑ ロケーション (99分)        | 16:00 ⑩ 女生きてます 盛り場渡り鳥 (89分) |                            |
|     | 23 ㊦ |                             | 15:00 ㉒ 同胞 (127分)           | 19:00 ⑥ ハイティーンやくざ (72分)    |
|     | 24 ㊦ |                             | 15:00 ㉔ きつね (104分)          | 19:00 ⑨ いれずみ半太郎 (90分)      |
|     | 25 ㊦ |                             | 15:00 ㉔ Love Letter (116分)  | 18:30 ㉔ 戦場のメリークリスマス (123分) |
|     | 26 ㊦ |                             | 15:00 ⑩ 三大怪獣 地球最大の決戦 (93分)  | 19:00 ㉓ ゴジラVSキングギドラ (103分) |
|     |      |                             |                             |                            |

■開場は開映30分前です。

■開映後の入場はできません。予告篇はございません。

■各日11:00に開館します。



ロケーション



われに撃つ用意あり

©1990松竹株式会社



いつか どこかで

## 展示室(7階)

### 【企画展】

常設展「NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史」も併設されています。

### 写真展 ハリウッドの名監督たち 映画芸術科学アカデミーのコレクションより Hollywood Masters in Photos: From the Academy Collection

2025年12月16日(火)ー2026年3月22日(日)  
\*月曜日、12月27日[土]ー1月7日[水]は休室  
主催:国立映画アーカイブ  
特別協力:映画芸術科学アカデミー

アカデミー賞で知られる映画芸術科学アカデミーは、映画アーカイブや映画資料の図書館も擁する組織です。本展はその膨大なコレクションより黄金期ハリウッドの名監督やスターの撮影現場を収めたスナップ写真を公開し、当館の資料も合わせてアメリカ映画の香気あふれる時代を再現します。

開室時間=11:00ー18:30(入室は18:00まで)  
料金=一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上、高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、国立美術館のキャンパスメンバーズは無料

\*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。  
\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\*学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。  
\*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。  
\*詳細は本展のチラシまたは国立映画アーカイブのHPをご覧ください。

### 常設展ギャラリートーク

原則として毎月第一土曜日

\*最新情報は国立映画アーカイブのHPをご確認ください。

fiaf

国立映画アーカイブは、国際映画アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。

FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



本プログラムの表紙デザインは、シンボルマーク・ロゴのデザインなど当館に多大なる御協力を賜った鈴木一誌氏(1950-2023)への追悼の意をこめて、かつて鈴木一誌デザイン事務所に所属していた吉見友希氏にご担当いただきました。

表紙:(左上から)奈良岡朋子、火野正平、久我美子、福岡健二(右上から)中島貞夫、西田敏行、財津一郎、小沼勝、久里洋二、鈴木瑞穂、丘さとみ

# 逝ける映画人を偲んで 2023-2024

In Memory of Film Figures We Lost in 2023-2024

| 第2期 |      |                                         |                                                                            |
|-----|------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 2月  | 10 四 |                                         | 15:00 ② 魔界転生 (122分) 19:00 ⑭ 強虫女と弱虫男 (98分)                                  |
|     | 11 五 | 12:30 ⑯ 無常* (143分)                      | 16:00 ⑮ 薔薇の葬列 (104分)                                                       |
|     | 12 六 |                                         | 15:00 ⑳ 原色の蝶は見ていた (72分) 19:00 ㉔ 本陣殺人事件 (106分)                              |
|     | 13 日 | 14:00 ㉒ わたしのSEX白書 絶頂度* (71分)            | 16:30 ㉓ うれしはずかし物語 (89分) 19:00 ㉕ 行き止まりの挽歌 ブレイクアウト (110分)                    |
|     | 14 月 | 13:30 ㉑ 億万長者 (83分)                      | 16:00 ㉔ 挽歌 (116分) 19:00 ㉕ 119 (115分)                                       |
|     | 15 火 | 13:00 ㉑ われに撃つ用意あり READY TO SHOOT (106分) | 15:45 ㉓ 鉄拳 (127分)                                                          |
|     | 17 四 |                                         | 15:00 ㉗ 黒い雨 (123分) 19:00 ㉕ 月山 (102分)                                       |
|     | 18 五 |                                         | 15:00 ㉘ 橋のない川 (139分) 19:00 ㉕ 翔ベйкаロスの翼 (112分)                              |
|     | 19 六 |                                         | 15:00 ㉙ いこかもどろか (109分) 19:00 ㉔ 12人の優しい日本人 (115分)                           |
|     | 20 日 | 13:00 ㉒ 渋滞 (109分)                       | 16:00 ㉔ 東京上空いらっしゃいませ (109分) 19:00 ㉔ いつか どこかで (110分)                        |
|     | 21 月 | 12:30 ㉓ 妻二人 (93分)                       | 15:00 ㉕ 生贄夫人／さすらいの恋人 眩暈* (計144分) 18:30 ㉕ 妻たちの性体験 夫の眠る前で、今…/見せたがる女* (計136分) |
|     | 22 火 | 13:00 ㉒ ドラえもん のび太と鉄人兵団 (98分)            | 16:00 ㉔ 火垂るの墓 (88分)                                                        |
|     | 24 四 |                                         | 15:00 ㉑ 武田純一郎 作品集 (計75分) 19:00 ⑧ 久里洋二 短篇アニメーション作品集 (計87分)                  |
|     | 25 五 |                                         | 15:00 ㉕ 地球交響曲 GAIA SYMPHONY (130分) 19:00 ㉗ 田名網敬一 作品集 (計51分)                |
|     | 26 六 |                                         | 15:00 ㉙ ショージとタカオ (158分) 19:00 ㉔ 急にたどりついてしまう (90分)                          |
| 3月  | 27 日 | 14:00 ㉒ 好色源平絵巻* (62分)                   | 16:30 ㉑ 絶倫海女 しまり貝* (69分) 19:00 ㉔ 絶倫!! 好色一代[『ニッポンの猿蓑』改題版]* (58分)            |
|     | 28 月 | 13:00 ㉕ くノ一化粧* (90分)                    | 15:30 ㉕ 日本暗殺秘録 (142分) 19:00 ㉔ 鉄砲玉の美学 (97分)                                 |
|     | 1 火  | 13:00 ㉕ 翔ベйкаロスの翼 (112分)                | 16:00 ㉔ いつか どこかで (110分)                                                    |
|     | 3 四  |                                         | 15:00 ⑮ 薔薇の葬列 (104分) 19:00 ㉑ 億万長者 (83分)                                    |
|     | 4 五  |                                         | 15:00 ㉔ 本陣殺人事件 (106分) 19:00 ㉔ 挽歌 (116分)                                    |
|     | 5 六  |                                         | 15:00 ㉑ われに撃つ用意あり READY TO SHOOT (106分) 19:00 ㉕ 119 (115分)                 |
|     | 6 日  | 12:30 ㉘ 橋のない川 (139分)                    | 16:00 ㉓ うれしはずかし物語 (89分) 18:30 ⑯ 無常* (143分)                                 |
|     | 7 月  | 13:00 ㉕ 月山 (102分)                       | 16:00 ㉗ 魔界転生 (122分) 19:00 ⑭ 強虫女と弱虫男 (98分)                                  |
|     | 8 火  | 13:00 ㉕ 学校の怪談4 (99分)                    | 16:00 ㉕ 死に花 (120分)                                                         |
|     | 10 四 |                                         | 15:00 ㉓ 妻二人 (93分) 19:00 ㉒ 原色の蝶は見ていた (72分)                                  |
|     | 11 五 |                                         | 15:00 ㉔ 急にたどりついてしまう (90分) 18:30 ㉕ 生贄夫人／さすらいの恋人 眩暈* (計144分)                 |
|     | 12 六 |                                         | 15:00 ㉙ ショージとタカオ (158分) 18:30 ㉕ 妻たちの性体験 夫の眠る前で、今…/見せたがる女* (計136分)          |
|     | 13 日 | 13:30 ㉕ 行き止まりの挽歌 ブレイクアウト (110分)         | 16:30 ㉒ わたしのSEX白書 絶頂度* (71分) 19:00 ㉒ 渋滞 (109分)                             |
|     | 14 月 | 13:00 ㉒ ドラえもん のび太と鉄人兵団 (98分)            | 16:00 ㉕ 学校の怪談4 (99分) 18:45 ㉕ 地球交響曲 GAIA SYMPHONY (130分)                    |
|     | 15 火 | 12:30 ㉓ 鉄拳 (127分)                       | 16:00 ㉔ 東京上空いらっしゃいませ (109分)                                                |
|     | 17 四 |                                         | 15:00 ㉒ 好色源平絵巻* (62分) 18:30 ㉕ 日本暗殺秘録 (142分)                                |
|     | 18 五 |                                         | 15:00 ㉔ 12人の優しい日本人 (115分) 19:00 ㉕ くノ一化粧* (90分)                             |
|     | 19 六 |                                         | 15:00 ㉕ 死に花 (120分) 19:00 ㉔ 鉄砲玉の美学 (97分)                                    |
|     | 20 日 | 12:00 ㉑ 武田純一郎 作品集 (計75分)                | 14:30 ㉑ 絶倫海女 しまり貝* (69分) 17:00 ㉔ 絶倫!! 好色一代[『ニッポンの猿蓑』改題版]* (58分)            |
|     | 21 月 | 13:00 ⑧ 久里洋二 短篇アニメーション作品集 ★ (計87分)      | 16:30 ㉗ 田名網敬一 作品集 (計51分) 19:00 ㉙ いこかもどろか (109分)                            |
|     | 22 火 | 13:00 ㉔ 火垂るの墓 (88分)                     | 15:30 ㉗ 黒い雨 (123分)                                                         |

■開場は開映30分前です。  
■★の回はトークイベントがあります。

■開映後の入場はできません。予告篇はございません。  
■\*印の上映回は女性専用席を設けます。

■各日11:00に開館します。